事業所名　稚内市早期療育通園センター

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日　令和　7　年　3　月　11　日

法人（事業所）理念	・心や体の発達に遅れや障害があると思われるお子さんに対し、お父さんやお母さんとともに通い一緒に遊ぶことにより、普段の生活のしかたや友達と楽しく遊べる力を伸ばし、お子さんの豊かな発達を図るとともに家族等でより豊かな生活の送り方の支援をする。		
支援方針	・利用にあたっては、保護者等がセンターへの送迎は必要であるが、基本的には保護者の同席は求めない。送迎時に職員と療育にかかわる意見交換や質疑応答などの機会をつくり、子育ての学びの場を提供する。 ・保護者のニーズと児童の様子及び関係機関からの情報等を参考に、個別支援計画を作成・決定をする。療育形態は、学年やグループ分けすることなく、異年齢の児童が一同に集まり、有意義な時間を過ごしつつ社会交流の向上に向けた支援に努める。		
営業時間	月～金（土・日・祝休み）　９：００～１７：００ ＊放課後等デイサービスは　月曜日　１５：００～１６：３０	送迎実施の有無	あり　(なし)
	支　援　内　容		
本人支援　健康・生活	・健康状態の把握。 ・発達に応じた基礎的な生活スキル（挨拶、身の回りのものの整理整頓、おやつの食べ方、時間の過ごし方）を獲得できるように支援する。 ・一人ひとりが落ち着いた環境で過ごせるように配慮する。		
本人支援　運動・感覚	・感覚統合遊具（ホーススイング、フロッグスイング等）や大型遊具（平均台、大型マット等）を使って体を動かす。 ・ボール遊び（三角ベースボール、ミニサッカー、ドッジボール他）に取り組み、運動能力の向上をはじめ、集団遊びのマナーやルールを学ぶ機会を作って援助する。		
本人支援　認知・行動	・宿題に取り組む時間を作り、自分で勉強に向かう姿勢を作っていく。 ・一人ひとりその日の時間の過ごし方を考え、自主的に取り組めるようにしながら、環境設定や提案を工夫し、興味・関心の幅が広がるよう働きかけをする。 ・視覚的な働きかけを行い、終わりの時間を知らせ、見通しをもって過ごせるようにする。		
本人支援　言語・コミュニケーション	・さまざまな人と関わりながら、自分の思いを相手に伝える経験をしていく中で、状況に合わせた言葉の使い方を身につけていく。 ・みんなで楽しく遊びながら、コミュニケーション能力を育てていけるように支援する。		
本人支援　人間関係・社会性	・他児と一緒に取り組む中で、順番やルールに沿って取り組む、一緒に物作りをする、譲り合う経験を積みながら社会性を育てていく。 ・さまざまな人と一緒に取り組みながら、自分自身の気持ちのコントロールや人との適切なかかわり方を身に付けていく。		
家族支援	・保護者が送迎時に、子どもの様子について話をしたり、保護者からの相談に対応できるように取り組んでいく。 ・利用児童だけでなく、きょうだい支援についても対応していく。 ・年１～２回、家族支援事業を開催し、保護者の交流の場を設ける。	移行支援	・必要に応じて、学校等の関係機関と連携を図る。
地域支援・地域連携	・児童が関わる関係機関との連携、地域の学校との情報交換、放課後等デイサービス事業の理解のための見学と懇談、相談等の受け入れを積極的に進める。	職員の質の向上	・施設内、外研修に参加しながら、各指導員の質の向上に努める。
主な行事等	・療育提供の回数が少ないため、現時点では計画はない。		